

アンモニアが CO2 フリー燃料と認められる一方、グリーンアンモニアの安価な供給が課題となっている。世界 1 安価な再エネ電力からの水素製造を目指す南アとグリーンアンモニア製造の共同研究開発を始めて 3 年の経過と成果を発表するとともに各界との意見交流を行う。世界の再エネ適地の気候、インフラ環境は一樣ではない。南アでのケーススタディはこの分野開拓の一例であるが（ご参加の上）ご批判いただきたい。



開催場所：「Plazaverde」 沼津市（駅北口直結）都内より 1 時間

主催者：沼津高専グリーンアンモニア研究センター



共催：Hydrogen South Africa (HySA)
North-West University SA, 在京南ア大使館、JICA、沼津中央高校

協賛（予定含む）：化学工学会、日本化学会、石油学会、日本エネルギー学会、触媒学会、電気学会、機械学会、グリーン燃料アンモニア協会（CFAA） 協力：JST

南アの再エネをアンモニアに変える

グリーン水素、 アンモニアに関する国際シンポジウム

2025 年 4 月 11 日午後-12 日午前

申し込み



プログラム（案）：11 日第 1 部：グリーン水素アンモニアを取り巻く動向、第 2 部：安定電力供給、12 日第 3 部：水電解技術の展開、第 4 部：アンモニア合成触媒、第 5 部：プロセス設計と評価。



発表者：satreps 参加大学（NW Univ., 宇都宮大、千葉大、東大、科学大、沼津高専、名古屋大、熊本大）、企業（NE Chem Cat）、国研、政府機関など

- 参加方法：関連 WEB-SITE 参照

<https://sites.google.com/view/greenammonianumazu/>

SATREPS 関係者、協賛学会員無料、CFAA 会員企業無料

申し込み締め切り：25 年 4 月 8 日

- 参加者（案）

オンサイト 100 名、オンライン 100 名

運営：主催者および Plazaverde

連絡先：numazugarc@gmail.com



-日本、南ア技術会議-

